



さわやか

健康
誠実
敬愛

令和5年11月6日

西東京市立田無第二中学校 11月号

合唱を振り返って

指導教諭

先日 10 月 14 日に実施された合唱コンクール、それぞれ学年の合唱を振り返って、感じたことやこれからに向けてのメッセージをまとめてみました。

●圧倒的な3年生

どのクラスも素晴らしかった！（審査をせずに、単純に楽しみながら聴きたかった！）何事にも真摯に取り組む、3年生の立派な姿がそのまま歌声に表れていました。合唱コンクール前だけでなく、毎回の授業に全力に取り組んでくれる学年だからこそできた合唱。これまで3年間で創り上げてきた結束力を感じました。曲想をよく理解し、強弱だけでなく、音色も変化させ、落ち着いた大人の表現でした。コロナ禍の影響で、一度途絶えてしまった二中の合唱コンクールに、新たなそして最高の伝統を残してくれてありがとう！



●成長を感じた2年生

2年生になると、一気に曲の難易度もあがります。課題曲「時の旅人」は、曲想の変化を感じ取って表現する、ということに難しさがあったと思いますが、どの学級も強弱を工夫して演奏することができていました。1年生の時より、1クラスの数が増えた分、まとまりのある合唱をつくることに苦労したと思います。それでも、行事を経るたびに取り組みの仕方が変わってきていて、成長を感じた合唱でした。

●これからが楽しい1年生

とにかく元気な1年生のよさを生かすことができていました。表情も豊かで、遠くまで声を届けようという気持ちがとても伝わってきました。1年生ながら、堂々と自分のクラスの歌声に自信をもって歌う姿が立派でした。今のまま素直な気持ちで歌ってほしいです。そして大人の歌声の先輩方に追いつこう。追い越そう！これからの成長が楽しみになる、素敵な合唱でした。



●音楽でひとつになった会場

吹奏楽部の演奏にノリノリで盛り上がってくれて、とても嬉しかったです。二中生の優しさを感じましたし、部員もとても楽しく演奏させてもらうことができました。生徒、保護者のみなさま、先生方。年齢も立場も超えて、会場が一つになれる。音楽っていいな、思える時間でした。

●改めて感じた、二中生の歌声のよさ

先日、他校の合唱コンクールの審査員をさせていただく機会がありました。普段、二中生の声だけを聴いているとあまり意識していませんでしたが、二中生の歌声ってやっぱり温かいんだなあと感じました。優しく柔らかい歌声が二中生の特徴です。そしてバランスに気をつけて歌える＝他者を思いやれることも、二中の合唱のよさです。歌を聴けば、どんな学校か分かります。これからも二中のよさを歌にのせて、いい学校をつくっていきましょうね。

夏休み前から、誰にも気付くれなくても地道に練習し続けてくれた指揮者、伴奏者。クラスの練習の中心となって、合唱コンクールを運営してくれた実行委員のみなさん。そして自分のできることを精一杯取り組んだ、歌い手のみなさん。全員の力で創り上げた、素晴らしい合唱コンクールでした。

一つのことに一生懸命に取り組むみなさんの姿は、とても美しかったですし、尊かったです。そんな二中生を誇りに思います。素敵な時間を、感動をありがとう。

最後に当日は多くの保護者、地域の方々にご来場をいただき、温かい励ましをいただきまして誠にありがとうございました。会場をお貸しくださった文華女子高等学校にも感謝申し上げます。



◇◆農業体験 1年生・ふるさと探究学習◇◆ 令和5年11月1日実施

1年生では「ふるさと探究学習」の一環として西東京市産業振興課で行っている「めぐみちゃんメニュー事業」の農家17軒にお願いして農作業体験を行いました。作業内容は収穫作業、種まき、植木の手入れ、出荷作業、植木の世話、ハーブ収穫、キウイ・柿の収穫、花の植え付け、耕運機・トラクター体験、農地整備など……たくさんの作業体験やお話をしてもらいました。西東京市の特色でもある近郊農業について深く知ることができ、将来に渡って地域を大切に思う気持ちをもつことができました。

